

## 前立腺がん患者の診断時背景因子と初期治療および治療経過に関する実態調査 研究について

この度海老名総合病院泌尿器科では入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施させていただきます。

### 1. 研究目的

前立腺がんと診断された患者さんの年齢や診断された時点での状態を調査し、どのような病気の状態の時に最初に行われる治療が何か、研究期間中の患者さんの状態がどうだったかをまとめることを目的にしています。

この研究は、東京大学医学部 泌尿器科教授 久米 春喜 先生が理事長をされている特定非営利活動法人（NPO 法人）J-CaP 研究会（日本における前立腺がんの医師主導臨床研究組織）に参加している医療機関から患者さんの情報を収集し、札幌医科大学で解析を行います。

なお、この研究の実施にあたり、アステラス製薬及び武田薬品工業から研究助成のための資金提供が行われますが、本研究には資金提供のみ行い、データの収集や解析には関与しません。

### 2. 研究方法

研究対象: 当院において前立腺がんの治療を受けられた方で、

実施期間: 平成 28 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日

研究方法: 研究者が診療情報をもとに診断された時の状態や前立腺がんそのものの性質を示す検査結果および治療内容のデータを選び、がんの治療に影響する患者さんの状態に関する分析を行い、治療をどう選択されるか、治療によって患者さんの状態がどう変化したかについて調べます。

研究成果の公表

### 3. 試料・情報

本研究では試料(血液、体液、組織、細胞、排泄物等の人の体から採取されるもの)は扱いません。

研究に使用する情報として、カルテから以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの情報は個人が特定できないよう加工して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

- ・ 年齢、性別、家族歴、既往歴
- ・ 前立腺がんの診断時の情報（グリソンスコアや PSA の値など）、診察所見、治療内容、PSA やテストステロンなどの検査データ、調査時点（登録後から 1 年経過毎に 10 年間）での患者さんの状態。

### 4. 外部への試料・情報の提供

個人が特定できる情報(氏名、住所、生年月日など)は除外した形でデータ集積を行います。

データの紛失・改ざん・漏洩などを防ぐためデータベースへのアクセスは ID・パスワード等、適切に管理しています。

収集した匿名化データは海外含む学術研究施設に提供されますが、診療の質評価および研究目的以外には使用致しません。研究成果は個人が特定できないような形で発表を行います。

#### 5. 本研究責任者およびお問合せ先

本研究にご質問がありましたら下記の連絡先までお問合せください。お申し出によりそれ以降の分析から個人データを除外することは可能ですが、お申し出時点より前の分析および発表済の研究結果からの削除は出来ない場合がありますのでご承知くださいますようお願い致します。

この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護について法令等を遵守し研究を行わせて頂きます。

試料・情報について、本研究への利用をのぞまれない場合は以下担当医師にご連絡ください。

施設名 : 海老名総合病院

住所 : 神奈川県海老名市中央 4 丁目 16-1

電話 : 046-233-1311

研究責任者 : 泌尿器科 小林 博仁